

日本麻酔科学会認定麻酔科専門医(学会専門医)に関する内規

2013年5月22日制定

2014年5月14日改定

2015年3月27日改定

2016年4月22日改定

2017年3月24日改定

2019年5月27日改定

2019年8月5日改定

2020年5月7日改定

2020年5月15日改定

2020年7月18日改定

第1章 総 則

(目 的)

第 1 条 この内規は、公益社団法人日本麻酔科学会（以下、「この法人」という。）認定制度運営細則第6条の規定に基づき、この法人が認定する麻酔科専門医（以下、「学会専門医」という。）の運用に関し必要な事項を定める。

(定 義)

第 2 条 学会専門医とは、この内規に定める所定の審査に合格し、この法人が、麻酔科関連の臨床、研究に関する十分な知識と技量を有すると認定した麻酔科関連の業務に週 3 日以上従事する者をいう。

2 前項の麻酔科関連の業務とは、以下の各号に掲げる業務をいう。

- (1) 周術期における麻酔管理に関する臨床または研究
- (2) 疼痛管理に関する臨床または研究
- (3) 集中治療部、救急施設等における重症患者の管理に関する臨床または研究

(有効期間)

第 3 条 学会専門医資格の有効期間は、登録された日から満 5 年間とする。学会専門医資格の認定は 2028 年度をもって終了する。

(認定の取消)

第 4 条 この法人は、以下に掲げる事由に該当するとき、学会専門医の資格を取り消す。

- (1) この法人の正会員あるいは名誉会員でなくなったとき
- (2) 学会専門医が認定の取消を申し出たとき
- (3) 学会専門医の更新の手続きをしなかったとき
- (4) この法人の理事会が学会専門医としてふさわしくないと認めたとき

- 2 この法人が、前項第 4 号の事由により学会専門医の資格を取り消すとき、常務理事会は、事前に本人に対し弁明する機会を与えなければならない。

第 2 章 新規認定

(申請資格)

第 5 条 学会専門医の認定審査を希望する者は、以下の各号に掲げる資格をすべて満たさなければならない。

- (1) 医師臨床研修終了後、申請する年の 3 月 31 日までに満 4 年以上、麻酔科専門医研修プログラムに関する内規第 2 条に定める研修プログラムのもとで週 3 日以上麻酔科関連業務に従事し、所定の経験症例数を満たし、研修を修了していること
- (2) 学会認定医の資格を有するまたは、学会認定医に相当する臨床実績を有すること。
- (3) 申請する年の会費を完納していること
- (4) 申請する年の 5 年前の 4 月 1 日から申請する年の 3 月 31 日までの間に、所定の実績があること
- (5) 申請する年の 5 年前の 4 月 1 日から申請する年の 3 月 31 日までの間に、AHA-ACLS、または AHA-PALS プロバイダーコースを受講し、実技試験申請時にプロバイダーカードを取得していること
- (6) 新規の学会専門医認定審査は 2023 年度をもって終了する。

(臨床実績)

第 6 条 この内規第 5 条第 1 号に定める週 3 日以上麻酔科関連業務への従事にかかる証明は、所属長等が発行する麻酔経歴書の写し、臨床実績報告書とする。

(研究実績)

第 7 条 この内規第 5 条第 4 号に定める学術集会等への参加実績および研究実績は 5 単位（学会単位表）とする。学術集会等への参加実績および研究実績の区分は、この法人の認定審査委員会が別に定める。

(申請)

第 8 条 学会専門医の認定審査を希望する者は、認定審査委員会の指定する方法により申請を行い、以下の各号に掲げる書類をこの法人に提出しなければならない。

- | | |
|----------------------|----------|
| (1) 学会専門医新規認定申請書 | 1 部 |
| (2) 職務経歴書の写し | 1 部 |
| (3) 麻酔経歴書の写し | 1 部 |
| (4) 臨床実績報告書の写し | 1 部 |
| (5) 学会専門医実績目録 | 1 部 |
| (6) 麻酔科専門医研修プログラム修了証 | 1 部 |
| (7) 写真 | 会告で定める部数 |

- 2 学会専門医の認定申請の受付期間は、毎年5月1日から6月30日とする。
- 3 学会専門医認定の審査料は、この内規第9条に定める試験科目ごとに10,000円（税別）とし、申請時に納付する。この法人が定める期間内に認定審査料の納付が確認されなかった場合、申請を無効とする。また、実地試験を実施するときは、旅費等の実費を別途徴収する。

（審査）

- 第9条 学会専門医の認定審査は、書類審査ならびに筆記試験、口頭試験および実技試験とし、この法人の認定審査委員会が実施する。ただし、認定審査委員会が必要と認めたときは、別に実地試験を課することができる。
- 2 筆記試験、口頭試験および実技試験は、試験科目ごとに受験することができる。
 - 3 審査に係る書類の不備について連絡を受けたにもかかわらず、特別の理由もなく回答が無く、認定審査委員会が定める回答期日が到来した場合、申請を無効とする。
 - 4 既納の審査料は、いかなる理由であっても返還はしない。

（合格科目の取消）

- 第10条 筆記試験、口頭試験、実技試験いずれかの科目に最初に合格した年から4年以内に、全ての科目に合格しなかったとき、または第5条のいずれかの要件を満たさなかったときすでに合格している科目の合格を取り消す。

（認定・登録）

- 第11条 認定審査委員会は、審査結果を理事長の承認を経て理事会に報告し、審査結果を申請者に通知する。
- 2 審査に合格した者は、審査結果通知後この法人が定める期間内に専門医登録料10,000円（税別）を納付する。所定期間を過ぎても納付が確認されなかった場合は合格を取り消す。
 - 3 この法人の理事長は、前項の登録料を納付した者を学会専門医として登録する。学会専門医として登録した者には認定証を交付するとともに、電磁的方法をもって公示する。
 - 4 学会専門医として認定された時点から、機構専門医の更新に必要な臨床実績と単位実績を申請年の3月31日までの過去5年間で取得した者は機構専門医への更新申請を行うことができる。
 - 5 既納の登録料は、いかなる理由であっても返還はしない。

第3章 更新認定

（更新）

- 第12条 学会専門医の資格は有効期間にて終了する。引き続き学会専門医資格の継続を希望する者は、有効期間が終了する前に日本専門医機構麻酔科専門医事前審査に関する内規に従い、更新の手続きをしなければならない。

第4章 補 則

(雑 則)

第13条 この内規に定める事項のほか、学会専門医の認定に関し必要な事項は別に定める。学会専門医の再認定については「学会専門医に関する内規」施行に伴う移行措置に関する申し合わせ」に定める

(内規の変更)

第14条 この内規の変更は、諸規則制定に関する規程第4条(4)に従ってなす。

附 則

1。この内規は、2029年3月31日に廃止する。